

第2次小金井市芸術文化振興計画（案）に対する意見及び検討結果について

意見募集期間：令和3年1月5日から2月5日まで

意見提出数：4人・11件

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
1	第一章	<p>今回の「第2次小金井市芸術文化振興計画（案）」を読ませて頂き、これに対する「パブリックコメント」つまり意見を募集されているのだと思うのですが、結論から申し上げて具体的な記載が無いために、何処に対して意見を求められているのかがよく判りませんでした。</p> <p>第一章：これはこれまでの経緯を説明しようとしている箇所なので、元々コメント対象ではないと思いますが、具体的に、いつ何をやってきたのかが記載されていないので、成果として「土台を作る事ができました」とか「多様な協働の形が生まれました」とか言われても、自己満足としか読めませんでした。</p>	<p>本計画は、今後の小金井市における芸術文化の施策・事業を進めるための基本方針や、方向性を示したもので個別具体的な事業内容を羅列するものではありません。施策・事業を進めるために、この方針や、方向性のもとに今後の社会情勢の変化を踏まえた推進事業を展開するという考えのもとに策定されていますのでご理解ください。</p>
2	第二章	<p>第二章：小金井の文化的な現状を述べている様ですが、これもすべてにオブラートが掛かっており、具体的に何を指しているのかよくわかりませんでした。できるならば、小金井市にとっての「芸術文化振興政策」の理想はどういうもので、これまで何ができたのか、何ができなかったのか、理想に近づく為には何をすべきなのか、という観点でのまとめが必要なのではないかと思いました。</p>	

3	第三章	<p>第三章：本計画の基本理念と理想像</p> <p>やっと、意見すべき対象が出てきますが、ここで語られている事は誰も反対を述べるような内容は無い と思えます。ある意味当たり前の事が並んでいると読めました。</p>	
4	第四章	<p>第四章：最後にやっと「具体的な計画」という題名が来ましたが、ここでは10年を2つに分けて、2021年から2025年の前半と2026年から2030年の後半に分けています。</p> <p>前半では、①小金井の2つの効率文化施設（市民交流センター・はけの森美術館）を活用し、芸術と市民を繋ぐ機会を整備します。②アーティストと市民がともに作品を制作する機会を（引き続き）提供します。③地域内外から多様な市民が参加できる実践の場づくりを行うよう努めます。</p> <p>後半では、④中間支援機能を持った団体や公立文化施設が連携して、地域で芸術文化活動の担い手を新たに発掘し、芸術文化と市民をつなぐ人材を育てます。⑤中間支援機能を担う団体の自主性と自立性を尊重し、事業運営のみならず現場の実情に即した政策提案能力を形作っていきけるよう支援を行います。⑥地域で芸術文化活動に興味を持ち、活動を主導する人材を増やすために、活動そのものへの理解を促すきっかけを提供します。そして、推進体制として、専門家、公募市民、計画実施主体の代表（アートフル・アクション?）、公立文化施設の運営者、関連部局の市職員が参加する「推進委員会」を設置して調査・提言を行います。</p> <p>また、「事業の実施者や参加者の達成感や行動の変化などの定性的な指標からも把握し、さらに必要な場合その事業が計画で掲げる理念や目標に適っているかを議論します。」などと書かれていますが、やはり具体的に何を行おうとしているのか判りませんでした。</p> <p>従って、コメントとしては、「具体性が無いのでコメントできな</p>	

		<p>い！」しか出てきません。</p> <p>最後に、「実施主体」として、下記の記述が有ります。</p> <p>①計画を推進するNPO法人アートフル・アクション</p> <p>②公立文化施設</p> <p>③中間支援機能を持つ多様な分野の団体</p> <p>とあり、各団体・期間の協力・連携に携わる担当者を置き、協働・教育・包摂に関して組織を超えて協力し合いながら、事業の柔軟な実施体制を作ります。</p> <p>とあります。⇒ここでの「事業」が何を指すのかによって、どのような団体が③の一員として参加を求められるのか、何か余分な事を期待しているのか、それとも各団体の事業に手を貸してもらえるのか、など不明な事が多いなと感じました。</p> <p>「財源」としては、「計画策定の主体である小金井市は十分な財政処置を講じる責務があります。」と結んでいるので、ここでいう「十分な財政処置」が如何様なものなのかが知りたくなりました。</p>	
5	P 1 4 (2) 教育・福祉 などの関連機関との連携	NPO、地域の図書館、大学、都立公園、ボランティアと「大学、都立公園」加えてください。	ご指摘いただいた点については、策定委員会とも協議し、計画策定の参考にさせていただきます。
6	P 1 5 (4) 自治体間の 連携	<p>小金井の文化の土壌に新たな風を吹き込むことが必要です。</p> <p>→小金井市と多摩地域から新たな風を巻き起こすこととなります。</p> <p>(自分のところだけでなく、多摩地域の芸術文化の向上を目指す書き方の方が良い)</p>	

7	P 1 6 (1) 継続的な芸術文化事業の推進	(1) 継続的な芸術文化事業の推進→ (1) 芸術文化事業の継続的な推進	
8	P 1 6 (1) 地域に開かれた芸術文化の拠点と交流の機会を提供する	(1) 地域に開かれた芸術文化の拠点と交流の機会を提供する → (1) 自然とつながりが持てる「芸術文化の拠点」と「交流の機会」とする 特に、家族や近隣の住民、通りすがりの人も気軽にかかわれるように意識し、必要な芸術文化の情報が伝わるようその届け方に工夫をしていきます。 →特に、芸術文化の情報に自然とつながりがもてるように、伝える情報の届け方、発信の仕方に工夫をしていきます。	
9	P 1 7 (4) 新たに地域で芸術文化活動を担っていく人材の育成を行う	芸術文化と市民をつなぐ人材を育てます。 →芸術文化と市民をつなぐ人材を育て、(仮称) 芸術文化コーディネーター人材バンクを創設します。	いただいたご意見については、今後事業を進めるうえで参考にさせていただくべきものと考えます。
10	全体として	文化振興計画の趣旨はとても素晴らしく、なんの申し分もございません。ただ具体案があまり具体的でないと思いました。 例えば はけの森美術館を一般へ貸出、こがねい国際芸術祭開催、こがねいアール・ブリュットを立ち上げる、など。 それから、学芸員の募集を拝見しましたがこれはあまりにも月給が安すぎます。再考して頂きたいです。	いただいたご意見については、今後事業を進めるうえで参考にさせていただくべきものと考えます。

1 1	<p>P 1 6 (2) 市民が芸術文化に参加する新たな機会をつくる P 1 7 (4) 新たに地域で芸術活動を担っていく人材の育成を行う</p>	<p>この点において、従来よりもっと行政の後押しで市内アーティストが芸術活動をしやすい企画、環境を整えてほしいと思います。 アートフル・アクションの企画は、少し特定の分野に寄りすぎて参加しにくい面が多いのでより幅広い分野のアーティストが参加しやすい企画をつくってほしいと思います。 具体的には、小金井市アーティスト緊急支援事業のような、どんなアーティストでも応募できるような企画、参加できるような企画を通常でも行うと良いと思います。 (ただし、応募出来るのが動画だけですとやはりちょっと偏りはあると思いますので、もう少しご検討ください。) また、市民ギャラリーなどの使用につきましては、現在作品の販売ができないということになっていますがアーティストが本来的にアート活動で生き、市内で活動してくためにはこれができないと意味がありません。この点について改善をご検討ください。</p>	<p>いただいたご意見の中で、個別具体的な内容については、本計画案に記載するものではありませんので、今後事業を進めていく中で参考としていくべきものと考えます。</p>

※提出された意見は、原則として全文を掲載しています。